

Ⅱ 学校運営の基本方針

- ◎ 教育目標である「高い知性・豊かな心・健やかな体」の具現化を目指し、全教職員が「認め」、「励ます」を基本姿勢に一丸となって教育活動に取り組み、喜びと充実感を味わえる組織的な学校経営を推進する。
- ◎ 幼小中の縦の連携と学校・家庭・地域の横の連携を図り、「田上の12か年教育」の実現を目指す。
- ◎ 生徒、教職員が「田上中プライド～誇りと自信～」をしっかりと自覚できる学校づくりに取り組む。
- ◎ 保護者や地域の想いをしっかりと受け止め、信頼される学校づくりに取り組む。
- ◎ 生徒の生命及び安全の確保をすべてに優先させ、崇高な使命を自覚して教育活動にあたる。

今年度特に力を入れる取組

- 1 自己肯定感・自己有用感のある生徒
 - ・ すべきことはきちんとさせて、さらに進んで取り組ませ、(生徒同士や教師や保護者が)「認め」「励ます」を基本姿勢に、自己肯定感・自己有用感を高める。
- 2 目標の実現に向けて実行する生徒
 - ・ 目標(夢)をもち、実現に向けて、粘り強く努力し続ける生徒を育てる。
- 3 「田上中プライド～誇りと自信～」をもって前へ進む
 - ・ 田上中の生徒としての誇り、教職員としての誇りをもてるよう教育活動に取り組む。
- 4 学校の活力を各自の力に
 - ・ 各自のがんばりが学校全体の活力を高め、学校全体の活力が各自の力へと還元することを目指す。

1 生徒一人一人を「認め」、「励まし」、伸ばすための指導・支援をする。

- ① 生徒一人一人の個性やもち味を充分に引き出し、それを育てる学級・学年経営及び教科指導を推進する。
- ② 授業はもちろん、諸行事、生徒会活動、部活動等様々な場面で生徒一人一人が真に生かされる機会と場を設定し、生徒が成就感、満足感を実感できるように支援していく。
- ③ 共に学ぶ仲間を互いに認め合い、好ましい人間関係の構築をとおして生徒一人一人が所属感、満足感を味わうことができるように支援していく。
- ④ 生き方指導としての道徳教育、生徒指導、キャリア教育を充実させる。
- ⑤ 人権感覚や規範意識の向上を図り、いじめを許さない安心して過ごせる公正で公平な学級・学校づくりを一丸となって組織的に取り組む。

2 教育目標の実現に向け、【確かな学力】と【豊かな心の育成】【健やかな体づくり】の3本柱を軸に教育活動を推進する。

(1) 学力の向上のために

- ① 学ぶ喜び・分かる喜びが実感できる授業づくり
 - ・ 客観的なデータに基づく学習状況の把握と指導の一体化を進める。
 - ・ 全教師足並みをそろえ「学び合いながら、考えを深める学習」の推進に努める。
 - ・ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善のための研修を計画的に行う。(公開授業を通しての授業研究、各種研究会・研修会への積極的な参加等)
 - ・ 幼小中(12か年)の連携を深め、中1ギャップの解消を図る。
- ② 学びの基礎づくりの徹底
 - ・ 「つなぐ時間」を継続実施し、家庭学習の習慣化を図る。また、家庭と連携しながら、生徒の望ましい生活習慣について見直しを進める。
- ③ 確かな学力の定着と補充的・発展的な学習の推進
 - ・ 全校体制によるWeb配信テストへの積極的な参加と結果に基づいた授業改善に努める。
 - ・ 放課後学習や長期休業中の補習などの補充的な学習機会を計画的・継続的に設定する。
- ④ 総合的な学習の時間の着実な推進
 - ・ 田上への愛着を深めるため、地域をテーマとした探究的な学習を計画的に実践するとともに

に、実践結果の蓄積を進める。

(2)豊かな心の育成のために

- ①道徳、人権教育、同和教育、学級活動の充実を通じた人間関係力を高める取組の推進
 - ・学習のねらいを明確にし、計画に沿った確実な授業実践・活動の積み重ねを図る。
 - ・学級活動では、人間関係力を育てる手法の積極的な活用を通してその育成に努める。
 - ・人権感覚や規範意識の向上に向けた取組を計画的に進める。
- ②「認め」、「励ます」を基本とした教師の姿勢のもと、学級活動や部活動等において人間関係を円滑にし、安心感・所属感がある居心地の良い親和的な集団づくりの推進
 - ・学校生活アンケートやいじめアンケートを実施し、生徒の実態把握と問題の解決に努める。
 - ・いじめ見逃しゼロスクール集会の実施、不登校生徒の改善・減少及び新たな不登校生徒を生まない環境づくりに努める。
 - ・多様性や個性を理解し、他者を思いやる豊かな心を育成する。
- ③生徒を前面に出した教育活動の推進
 - ・係や当番活動、個人の役割と責任の明確化を図り、所属意識の向上と自立的な集団への向上を図る。(教師の支援・指導を基盤にした自主的な生徒会・学級活動等)
 - ・明るいあいさつを通して、コミュニケーション能力の育成に努める。

(3)健やかな体づくりのために

- ①健康を維持する食生活や望ましい生活習慣の定着を図る
 - ・食生活や生活習慣の実態調査を定期的実施し、実態を把握するとともに経年変化を捉え、課題と対応策を検討する。
 - ・望ましい生活習慣の定着のために知識を身に付けさせ実践力の向上を図る。
 - ・「たけのこ週間」や「アウトメディアウィーク」を通して、家庭との連携協力を進めながら、メディア時間を意識した望ましい生活習慣の確立に努める。
- ②体力テストの結果をもとに分析を行い、保健体育科の授業と部活動とが連携しながら体力の向上を目指す。
 - ・体力向上の意義を理解させ、1学校1取組の改善、充実を図り体力向上を目指す。

3 家庭・地域との連携を深め、共に育てる学校づくりに努める。

- ① 生徒、家庭、地域の想いを受け止め、意見や相談には誠意をもって誠実な対応に心がけ、良好な関係づくりに努める。
- ② 各種たよりをはじめ、保護者会や地区懇談会などさまざまな機会をとらえ、家庭教育の重要性を訴え、また生徒の活動の様子を積極的に発信していく。
- ③ 学校運営協議会を定期的実施し、学校教育の説明責任を果たし、また評価結果と改善策を公表して、保護者・地域との連携を深めていく。
- ④ 田上コミュニティ・スクールを基調とし、学校・家庭・地域の相互理解を深めながら、信頼関係の構築に努める。そして、学習活動や学校行事等において、地域とつながる教育活動を地域とともに積極的に進めていく。
- ⑤ 幼稚園、二小学校、一中学校という地域のよさを生かし、共通理解のもとに、連携をさらに深めた教育活動を推進し、「田上の12か年教育」の実現を目指す。

4 目指す教師像

- ① 新しい世界を感じさせ、感動を与えられる教師
学習の場は教室だが、教室から生徒の思考を飛ばし、時代(時間)や世界(空間)を超えて駆け巡らせる。
- ② 生徒の潜在能力に気づき、それを引き出していける教師
- ③ 人生のスイッチを入れられる教師
生徒に生き方や考え方の指針を目覚めさせ、やる気を掻き立てる。
- ④ 行動に節度があり、人から敬われる教師
指導者、人生の先輩として、襟を正す。